

## 令和2年度 事前評価点検表（内部評価）

### 1 事業概要

事業名	淀川水系東谷通常砂防事業			
担当部署	都市整備部河川室河川環境課砂防グループ（連絡先 06-6944-9302）			
事業箇所	茨木市泉原			
事業目的	本溪流では渓岸・渓床の浸食が著しいことから、土石流の発生による災害より府民の生命・財産を守るために砂防堰堤を整備し人家 14 戸、診療所、市役所（出張所）、集会所、指定避難路である府道 179m を保全する。			
事業内容	<p>砂防堰堤工 1 基 透過型堰堤工 堤高 : 9.5m 堤長 : 36.5m</p>			
事業費	<p>全体事業費：約 1.2 億円（国：0.6 億円、府：0.6 億円） (内訳) 調査費等約 0.2 億円 用地費 約 0.2 億円 工事費 約 0.8 億円</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 5px;">【事業費の積算根拠】 近年実績による</td> <td style="padding: 5px;">【工事費の内訳】 砂防堰堤工 約 0.7 億円</td> </tr> </table>		【事業費の積算根拠】 近年実績による	【工事費の内訳】 砂防堰堤工 約 0.7 億円
【事業費の積算根拠】 近年実績による	【工事費の内訳】 砂防堰堤工 約 0.7 億円			
事業費の変動要因	<ul style="list-style-type: none"> <li>地権者への補償費の算定については、概算額で計上しており、今後の調査により変動する可能性がある。</li> </ul>			
維持管理費	補修費用：0.8 億円/50 年			
関連事業	なし			

### 2 事業の必要性等に関する視点

上位計画等における位置付け	大阪府都市整備中期計画（案）[H28.3]	
優先度	本溪流は渓岸・渓床の浸食が著しいことから災害発生の危険度も高く、人家、診療所、市役所（出張所）、集会所、府道が保全対象であることから、災害発生時の影響度も高い。よって砂防堰堤を整備する優先度が高い。	
事業を巡る社会経済情勢等	<p>本溪流は人家、診療所、市役所（出張所）、集会所、府道などを保全対象にする土石流危険渓流であり、渓岸・渓床の浸食が著しいことから、今後の降雨による土石流発生の危険度が高い。よって、早期の対策が求められている。</p> <p>〔災害発生の危険度〕 本溪流では、流域の荒廃が著しく進んでいることから危険性が高い。</p> <p>〔保全対象〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>人家 14 戸</li> <li>診療所 1 施設</li> <li>集会所 1 施設</li> <li>市役所（出張所）1 施設</li> <li>府道 179m</li> </ul>	
地元の協力体制等	市や住民からは、防災事業として強い要望を受けており、事業実施に向け協力を得ている。	
事業の投資効果 <費用便益分析> または <代替指標>	<p>【効果項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>資産被害抑止効果</li> <li>人身被害抑止効果（精神的被害含む）</li> </ul> <p>【分析結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>B/C=67.63 B=73.04 億円 C=1.08 億円</li> </ul> <p>【算出方法】</p> <p>国土交通省水管理・国土保全局「治水経済調査マニュアル（案）」（令和2年4月） 国土交通省水管理・国土保全局砂防部「土石流対策事業の費用便益分析マニュアル（案）」（平成24年3月）</p> <p>【受益者】</p> <p>土砂災害警戒区域内住民、各施設管理者及び利用者</p>	
事業効果の定性的分析 (安心・安全、活力、快適性等の有効性)	<p>【効果項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>安心：対策施設の整備により、診療所、市役所（出張所）、集会所の利用者及び、府道を通行する車両や居住者の安心感が向上する。</li> <li>安全：対策施設の整備により、指定避難路である府道の安全が確保され、土砂災害警戒区域内の安全性が飛躍的に向上する。</li> <li>活力、快適性：対策施設の整備により、指定避難路である府道の通行止めリスクを軽減する。</li> </ul> <p>【受益者】</p> <p>土砂災害警戒区域内住民、各施設管理者及び利用者</p>	

### 3 事業の進捗の見込みの視点

事業段階ごとの 進捗予定と効果	令和3年度 測量・地質調査・詳細設計 令和4年度 用地測量・用地買収 令和5年度 工事着手 令和6年度 工事完了（予定）
完成予定年度	令和7年度

### 4 コスト縮減や代替案立案等の可能性の視点

代替手法との 比較検討	本溪流において土砂災害の被害を防ぐには、砂防堰堤工による対策以外の工法は無い。
----------------	---

### 5 特記事項

自然環境等への 影響とその対策	砂防堰堤の施工において樹木の伐採を伴うが、その範囲を最小限に止め、自然環境への影響を極力軽減する。 また、透過構造の砂防堰堤の整備により、渓流の上下流の連続性を確保する。
その他特記事項	本事業によるハード対策に加え、ハザードマップを用いた防災訓練などのソフト対策による住民の安全・安心の充実を図る。

### 6 評価結果

評価結果	○事業実施 <判断の理由> 本渓流は人家14戸、診療所、市役所（出張所）、集会所、府道179mなどを保全対象にする土石流危険渓流である。渓岸・渓床の浸食が著しいことから、今後の降雨による土石流発生の危険度が高く、土石流が発生した場合には、被害が甚大になる恐れがあることから、砂防堰堤を整備する必要があるため「事業実施」とする。
------	---

令和2年度 事前評価（淀川水系東谷通常砂防事業）

**事業箇所図**

事業実施箇所

**平面図**

【保全対象】

- ・人家 14戸
- ・府道 179m(指定避難路)
- ・診療所 1箇所
- ・市役所 1箇所
- ・集会所 1箇所

凡例

- 流域界
- 砂防堰堤
- 土砂災害警戒区域

**現況写真**

溪流の状況

保全対象：市役所・公民館

保全対象と下流方向の位置関係

保全対象（診療所）

**標準断面図**

9.5m

本堤工